

地位の真理

この学び全体のアウトラインと本日の内容

1. イントロダクション (総論 七つの項目)
2. 各論 33の事柄
3. 結論

2017年6月から2018年1月までに、各論の第30「古き人(罪の性質)はすでに裁かれており、新しく歩むことのできる者である」までを学びました。

本日は、各論の第31「父・子・聖霊に結び合わされている者である」と第32「神にアクセスすることができる者である」です。

次回3月は、第33「神からの特別なケアを受ける者である」と結論を扱い、地位の真理に関する一連の学びを終了する予定です。

4月の福岡集会はお休みです。中川先生による「一日セミナー」(4月28日)へのご参加をお勧めします。

イントロダクション(総論 七つの項目)の要点

1. キーワードは、「キリストにあって」「イエスにあって」「イエス・キリストにあって」「キリスト・イエスにあって」「彼にあって」「その方にあって」
2. 信者が持つ地位と実際の生活との関係
 - (1) 信者が持つ地位(メシアの中にあるという地位)と、それにつながる33の事柄は、神の目から信者を見たときの真実である。
 - (2) 信者の実際の生活を人間の目から見ると、そういう地位にあるようには見えない。
 - (3) 信者の人生における歩みを、信者の持つその地位にふさわしいものにしていくこと、これは聖霊の働き「聖化」である。
 - (4) サタンや悪霊との戦いにおいては、信者の実際の生活がどうあるかではなく、メシアの中にある地位とそれに伴う権威によって対抗する必要がある。
3. その地位につくための経路は、聖霊のバプテスマである(1コリ12:13)。
4. その地位が与えられた源は、神の恵みである(エペソ1:6、2:7)
5. その地位は、信者の権威の基盤である(エペソ1:18~19)
6. その地位に伴う権威を行使することは、サタンに対する最良の防御である。
7. 「キリストにあって」というキーワードと並んで、メシアと信者との関係を教える重要な表現「キリストと共に」・・・神の目から見たとき、信者はメシアと同一の者と見られている。十字架からスタートして全部で8つの展開【キリストと共に、十字架につけられた・死んだ・葬られた・生かされた・復活させられた・苦しんでいる・栄光を受けるであろう・共同相続人となるであろう】。そのすべてが、救いの結果である。神の恵みであって、人の働きではない。

各論 33の事柄・・・前回までに 第1から第30

1. 神によって贖われた者である
2. 神と和解させられた者である
3. 神の怒りはなだめられており、神は私に怒ってはおられない
4. 神から赦しを受けている者である
5. 神から義と認められた者である
6. 神からの栄光を受ける者である
7. 闇の支配から解放された者である
8. 心の割礼（キリストの割礼）を受けた者である
9. 神に受け入れられる者である
10. 聖霊の初穂（初なりの実）をいただいた者である
11. 神の永遠の計画の中にある者である
12. 岩なるメシアを土台として立つ者である
13. アブラハム契約に近い者とされた【異邦人信者にとって】
14. 聖なるそして王なる祭司のメンバーとされた
15. 神の国に移された者である
16. 選ばれた種族、聖なる国民、神の所有とされた民【ユダヤ人信者にとって】
17. 天の市民である
18. 神の家族である
19. 神から愛され、養子とされた者である
20. 神の子たちである
21. 聖徒たちの交わりの一員である
22. 主にあって光、光の子たちである
23. 天と連帯する者である
24. 完全な者である
25. すべての霊的祝福を所有している
26. 父なる神から子なる神への贈り物である
27. メシアの相続財産である
28. メシアとの共同相続人である
29. 律法から自由にされた者である【ユダヤ人信者にとって】
30. 古き人（罪の性質）はすでに裁かれており、新しく歩むことのできる者である

本日の内容 各論 33の事柄のうち、第31と第32

31. 父・子・聖霊に結び合わされている者である

(1) 信者は、父・子・聖霊に結び合わされている者である。

- ① すべての人は、広い意味では、神の御手の中で生きている（使徒 17：28 「私たちは、神の中に生き、動き、また存在している」）。
- ② 信者は、神との特別な関係の中で、生きている
 - I コリ 6：19 「あなたがたのからだは、あなたがたのうちに住まわれる、神から受けた聖霊の宮である」
 - エペソ 2：20～22 「あなたがたは、使徒と預言者という土台の上に建てられており、キリスト・イエスご自身はその礎石です。この方であって、組み合わされた建物の全体が成長し、主にある聖なる宮となるのであり、このキリストにあって、あなたがたもともに建てられ、御霊によって神の御住まいとなる」
 - II コリ 6：16 「私たちは生ける神の宮なのです」

(2) この地位には、6つの面がある。

- ① 信者は、父なる神の中にある
 - ヨハ 17：21 「父よ、あなたがわたしにおられ、わたしがあなたにいますように、彼らもわたしたちにおるようになる」
 - I テサ 1：1 「父なる神および主イエス・キリストにある」
 - II テサ 1：1 「私たちの父なる神および主イエス・キリストにある」
- ② 父もまた、信者の中におられる
 - ヨハ 14：23 「だれでもわたしを愛する人は、わたしのことばを守ります。そうすれば、わたしの父はその人を愛し、わたしたちはその人のところに来て、その人とともに住みます」
 - エペ 4：6 「すべてのものの上であり、すべてのものを貫き、すべてのもののうちにおられる、すべてのものの父なる神は一つです」
- ③ 信者は、子なる神の中にある
 - ヨハ 14：20 「わたしが父におり、あなたがたがわたしにおり、わたしがあなたがたにおる」
 - ヨハ 17：21 「父よ、あなたがわたしにおられ、わたしがあなたにいますように、彼らもわたしたちにおるようになる」
 - ロマ 8：1 「キリスト・イエスにある者が罪に定められることは決してありません」
 - II コリ 5：17 「だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました」
- ④ 子もまた、信者の中におられる
 - ヨハ 14：20 「わたしが父におり、あなたがたがわたしにおり、わたし

があなたがたにおる」

- ヨハ 14:23 「だれでもわたしを愛する人は、わたしのことばを守ります。そうすれば、わたしの父はその人を愛し、わたしたちはその人のところに来て、その人とともに住みます」
- コロ 1:27 「神は聖徒たちに、この奥義が異邦人の間にあつてどのように栄光に富んだものかを、知らせたいと思われたのです。この奥義とは、あなたがたの中におられるキリスト、栄光の望みのことです」

⑤ 信者は、聖霊なる神の中にある

- ロマ 8:9 「もし神の御霊があなたがたのうちに住んでおられるなら、あなたがたは肉の中ではなく、御霊の中にいるのです」
- エペ 2:22 「このキリストにあつて、あなたがたもともに建てられ、御霊によって【直訳「御霊の中にあつて」】神の御住まいとなるのです」

⑥ 聖霊は、信者の中におられる

- ヨハ 14:16 「わたしは父にお願いします。そうすれば、父はもうひとりの助け主をあなたがたにお与えになります。その助け主がいつまでもあなたがたと、ともにおられる【ギメノー「滞在する、住む」】ためです」
- ロマ 8:9 「もし神の御霊があなたがたのうちに住んでおられるなら、あなたがたは肉の中ではなく、御霊の中
- ロマ 8:11 「もしイエスを死者の中からよみがえらせた方の御霊が、あなたがたのうちに住んでおられるなら、キリスト・イエスを死者の中からよみがえらせた方は、あなたがたのうちに住んでおられる御霊によって【ギディア「を通して」】、あなたがたの死ぬべきからだをも生かしてください」
- I コリ 2:12 「私たちは、この世の霊を受けたのではなく、神の御霊を受けました。それは、恵みによって神から私たちに賜ったものを、私たちが知るためです」
- I コリ 3:16 「あなたがたは神の神殿であり、神の御霊があなたがたに宿っておられる」
- I コリ 6:19 「あなたがたのからだは、あなたがたのうちに住まわれる、神から受けた聖霊の宮である」
- II テモ 1:14 「あなたにゆだねられた良いものを、私たちのうちに宿る聖霊によって【ギディア「を通して」】、守りなさい」

(3) 聖霊が信者の中に住んでおられる、という一面は、よく知られています。しかし、三位一体の神の全体が、信者の中に住んでおられるということ、同時に信者もまた三位一体の神の全体の中にある、という 6つの面すべての理解が重要です。信者は、「父・子・聖霊に結び合わされている者」です。

32. 神にアクセスすることができる者である

(1) 信者は、神にアクセスすることができる。この地位には4つの面がある。

① ロマ5:2 神の恵みにアクセスすることができる

この方(キリスト)にあつて、また(1節、神との平和を持っているのに加えて)、アクセスを、私たちは持った、信仰によって、この恵みの中への

(この恵みの中に)私たちは立っており、そして、喜んでいる、望みを・栄光の・神の

② エペ2:18 父なる神にアクセスすることができる

この方(キリスト)によって【ギディア「を通して」】、私たちはアクセスを持っている、両者ともに(異邦人信者もユダヤ人信者も)、一つの御霊において【ギエン「の中に、～にあつて」】、父のみもとへの

③ このアクセスは信者に安心を与える。これは救われたことを確信させる。

- エペ3:12 「私たちはこのキリストにあり、キリストを信じる信仰によって大胆に確信をもって神に近づくことができる」
- ヘブ4:16 「私たちは、あわれみを受け、また恵みをいただいて、おりにかなった助けを受けるために、大胆に恵みの御座に近づこう」
- ヘブ10:19 「私たちは、イエスの血によって、大胆にまことの聖所に入ることができる」
- ヘブ10:22 「私たちは、心に血の注ぎを受けて邪悪な良心をきよめられ、からだをきよい水で洗われたのですから、全き信仰をもって、真心から神に近づこうではありませんか」

④ このアクセスは、信者に神との交わりを与える。信者が神との交わりをもつことができるのは、信者が神にアクセスすることができるからである。

- Iコリ1:9 「神は真実であり、その方の召しによって、あなたがたは、神の御子、私たちの主イエス・キリストとの交わりに入れられました」
- Iヨハ1:3 「私たちの交わりとは、御父および御子イエス・キリストとの交わりです」

(2) 適用

- ① この地位のゆえに、信者は大胆に恵みの御座に近づくことができる。そして、信者はどのような苦難や試練の中にあつても、その時々で必要とする恵みをいただくことができる(ヘブル4:14~16)
- ② もし信者の誰かが、霊的生活の中で失敗したり、よろめいたり、つまづいた

りしていたら、それは十分な恵みが与えられていなかったからではない。その信者が、誘惑や苦しみ、試練や患難の中で、それを乗り越えるために必要な恵みを、本来は受けられるのに、受け取らなかったからである。

- ③ アクセスは「父なる神に」。信者の祈りは、父なる神に向けて祈られる。

ヘブル 10 : 22 に関する補足説明

- (1) 神に近づく＝神を礼拝する、神に祈る
- (2) 礼拝のために神に近づくときには、2つの条件
- ① 「全き信仰をもって」 完全な信仰とは、成熟した、大人の信仰。信者は信仰によって生きる。神は約束したことを成し遂げることができるがゆえに、約束をなさるお方である。神の約束をそのように信頼するのが、成熟した信仰。
- ② 「真心から」 うわべだけではなく、本当に神に信頼して
- (3) 神に近づく手段は2つ、これは神の側が用意してくださること
- ① 心に血の注ぎを受けて邪悪な良心をきよめられ
- 文法上は完了形。よって、過去にすでにきよめられ、今も継続してきよい。
 - これは、地位としてのきよめ。イエスの中にあって、信者は聖いという地位を与えられている。
- ② からだをきよい水で洗われた（入浴させられた）
- これも完了形。過去にすでに浴槽に入れられ、今も継続して浴槽に入れている。
 - これは、実際の日々のきよめ。イエスは信者たちを日々きよめてくださっている。信者の聖化は、地上を歩む限り、続いている。

次回3月は、第33「神からの特別なケアを受ける者である」と結論を扱い、地位の真理に関する一連の学びを終了する予定です。

4月の福岡集会はお休みです。中川先生による「一日セミナー」（4月28日）へのご参加をお勧めします。

5月からは、「死後の世界」をテーマに、次のような内容を扱う予定です。

1. 人の成り立ち【霊魂と体】
2. 肉体の死後の霊魂の行先とその状態
3. 復活の体を受けること
4. 次の世（メシアの王国）での生活
5. 新しい天と新しい地での永遠の生活